

行政経営会議の内容

件 名	大和市一般廃棄物処理基本計画の改定について
所 管 部	環境共生部
日時・場所	令和7年10月23日（木） 13：30～13：55 研修室
出 席 者	市長、副市長、教育長、市長室長、未来政策部長、総務部長、市民経済・にぎわい創出部長、環境共生部長、健幸・スポーツ部長、あんしん福祉部長、こども部長、まちづくり部長、消防長、教育部長、議会事務局長、環境管理センター所長、資源循環推進課長、下水道・河川施設課長
提出理由	大和市一般廃棄物処理基本計画を改定するにあたり、素案の内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状分析の結果から、本市はごみの減量化・資源化の取組が進んでいると改めて認識した。 今後のごみ処理においては、事業者や市民にとっての取り組みやすさなどが重要になってくると思われる。 ごみ処理施設の広域化について、大和高座ブロックにおいて日量300t以上の規模のごみ施設は考え得るのか。県の考え方や関与の有無、市町村の今後の動き方について、現時点での分かることで教えてほしい。 <p>(所管部) 県は新たな広域化・集約化の枠組みを構築するため、広域ブロックの見直しを考えており、市町村の意見を聞きながら調整していくと聞いている。</p> <p>本市としては、県の広域化の方向性が見えてきた段階で、新しい枠組みの下でブロック構成された自治体と、広域化の調整を進めていくことになる。</p> <p>本市のごみ処理施設は基幹改良工事により、令和20年度まで延命化措置をしている。その後の本市のごみ処理の形態については、令和11年頃までには検討しておく必要があると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設の広域化・集約化については、今後県が主体的に計画を進めていくとのことだが、本市においても施設整備計画はもちろんのこと、人員配置や運営形態などに大きな影響を及ぼすものと考えられる。今後の県の動きについて、現段階でのスケジュールを教えてほしい。 <p>(所管部) 県は令和9年度中に、広域ブロックの計画である「長期広域化・集約化計画」を策定するとしている。計画策定にあたり、本年8月に1回目の協議会が開催された。9月には、ごみ処理の状況や今後の方向性を把握するため、市町村に対するアンケート調査が行われた。また、この秋以降に、市町村へのヒアリング調査を行い、計画素案を作成していくと聞いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年3月に実施した市民アンケートの結果を受けて、計画に反映したものはあるか。 <p>(所管部) 市民アンケート調査は、ごみの減量化・資源化に係る市民の行動実態や意見等を把握し、計画に反映させることを目的に実施した。</p> <p>その結果、現状の本市のごみの減量化・資源化施策について、概ね肯定的な意見を頂戴した。一方、リサイクル品目の追加、新たな施策の推進等について、積極的な取組を希望する意見が少數あった。</p>

	<p>アンケート結果を受けて、今以上に高いレベルのごみ減量化・資源化を市民の皆様に求めるよりも、市民・事業者・自治会の皆様から今後もご協力を得られるよう、持続可能な施策展開とすることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理容器等の設置費補助の実績は。また、作られた堆肥は市民農園で活用しているが、堆肥の回収量はどのくらいか。 <p>(所管部) 生ごみ処理容器等設置費の補助は平成2年度から実施しており、令和6年度までの累計で、9,386世帯に補助を行った。</p> <p>作られた堆肥は、まずは各家庭で活用してもらっているが、余剰分を市が拠点回収しており、令和6年度の回収実績は415kgである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみを分別して資源に変えていく」「ごみを宝に」と考えている。市民の皆様にもご協力いただきながら進めていきたい。生ごみをなるべく燃やさず堆肥化するなど、ごみの減量化を進める必要がある。 ・剪定枝等を資源化していく施策を分かりやすく記載してほしい。 ・LUCKY GET 大作戦などのごみ拾いイベントを市民により一層周知して、「ごみを宝に」という考えにつなげていきたい。計画に付け加えるものがあれば対応してほしい。
会議結果	一部修正のうえ、進めていく。